

2019 年度滋賀会「高取山」研修

報告・関澤友規子

1 日 時：5 月 12 日（日）

2 場 所：湖東・高取山

3 参加者：小西民人（研修担当）・佐々木健夫・平田明・平田照子・橋木啓子・関澤友規子

4 コース：受付→やまのこでも使う「どんぐりの道」コース→展望台→山頂（611）→たか
とりの道→きのみ道→くすりの道→受付

本日のメイン植物はイヌザクラ



バラ科ウワミズザクラ属のイヌザクラは「花序の下に葉が付かない」が 1 番のポイント



ウワミズザクラは花序の下に葉がつく。また花もウワミズザクラの方が豪華につく感じ

葉も縁がふるふるしている

桜似の樹皮は白い・別名「シロザクラ」



次にコトウカンアオイ



花の「くびれの無さ」がまずポイントで



この内部の網目模様の段の数などが決め手のようです。

下見の際に見つけておいた花が何ものかに荒らされていたので

1つ頂いてカットしてみたもの。両側にある花粉はオシベの葯として

柱頭は1個なのか3個なのか？



タニウツギの花が咲き始め

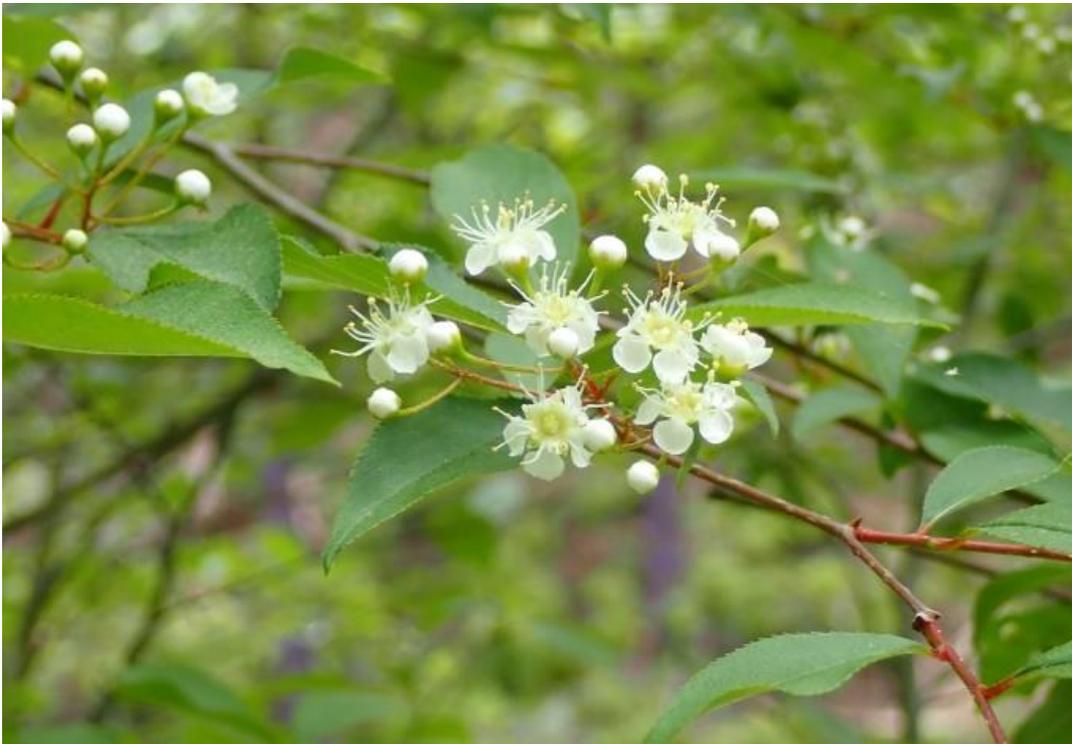




ガンピの蕾が見え始めている



ヒメハギの花



バラ科カマツカの花も咲き始め



ツクバネウツギの花



ツツジ科スノキの花



イヌブナの新葉



ホオノキの新葉の美しいこと



ヒメアギスミレの花



フデリンドウ群生

この他に見たもの

新葉

シロモジ、クロモジ、ヤマコウバシ、ニガイチゴ、ヤマツツジ、モチツツジ、コバノミツバツツジ、ナツハゼ、ホツツジ、ヤブムラサキ、ナラガシワ、ミズナラ、コナラ、タムシバイチイガシ、アカガシ、スノキ、イヌシデ、アカシデ、ドロノキ、ナツツバキ、タマミズキ、ウラジロノキ、アワブキ、クマノミズキ、ヌルデ、ヤマハゼ、マンサク

蕾が見えたもの

タカノツメ、アオハダ、エゴノキ、ゴンズイ、アマヅル、コアジサイ

花や実や虫こぶがあったもの

コバノガマズミ、ミヤマガマズミ、マルバアオダモ、カナクギノキ、アカマツ、キミズミ、ヒメコウゾ、ナラメリンゴフシ、クリメコブズイフシ

草本

サジガクビ、ホナガタツナミ、バイカオウレン、オオイワカガミ、オオバノトンボソウ、カナビキソウ、コメガヤ、キランソウ、

虫や鳥など

ハルゼミ、カゲロウ、カワトンボ、タゴガエル、ツツドリ、キビタキ？ヒメツチハンミョウ



ヒメツチハンミョウ

